

九条の会

No.57 2011 10.9 **おがわ町九条の会**

だより

〒355-0315 小川町みどりが丘 5-13-3(西田一雄気付け)

T/F 72-4445 ホームページ <http://www.ogawa9jo.com/>

第7回 =9月19日(月)小川町図書館=

おがわ町九条の会総会



おがわ町九条の会総会が9月19日(月)小川町図書館で開かれました。連日の猛暑日の中、ご出席いただいた方々に感謝申し上げます。第一部「総会」は藤村吉則さんの司会で和やかなうちに進められ、経過報告、決算、監査報告が行われました。また、2011年度の基本方針、役員案が運営委員会提案通りに承認されました。休憩をはさんで第二部は桜井薫さんの記念講演です。ご報告します。

おがわ町九条の会のこの一年(経過報告から)

・継続したニュースの発行

全会員への配布のほか、駅頭での配布・特定の地域での全戸配布を行ってきました。今期49号~56号、8号発行しました。

・継続した9の日行動

小川・竹沢の両駅頭で実施してきました。配る人が減少する傾向にあるのは残念です。(朝6:30~7:30、お出かけください)

・活動の特徴点

大きな催しとして、①9月・総会講演、②10月・町民コンサート、③1月、日野秀逸氏講演、④5月緊急学習会「原子力発電と放射能」講師畑井喜四郎氏、⑤5月ダニーネフセタイさん講演を開催しました。また今期は、「会」が協力する他団体の催しが、例年になく大きな成功を収めています。

⑥井上ひさしさん追悼「父と暮らせば」公演(同観る会主催) ⑦「釈迦内枢唄」の公演(同観る会主催) ⑧連続学習会「原子力発電」「原発のない未来の会」主催 ⑨「小川町戦争展」(同実行委員会主催)

・「9条カフェ」(毎月第二土曜日・はなみずきルームをお借りして)を開き、語りあいました。

・6月末会員数 406名です。自然減は避けられません。会員を増やしていくことが求められています。



私たちが「おがわまち九条の会」の役員です

一年間よろしくお祈りします。コンサートのチケットなどお申し付けください。また、毎回皆様からのメッセージや声、特に、ご自身の戦争体験や、平和についてのお考えを私どもまでお寄せください。また、入会希望の方は、私たちにご連絡ください。

〈代表委員〉新井喜代美(腰越) 豊嶋久子(大塚) 長尾邦弘(小川) 西田一雄(みどりが丘) 松本栄二(みどりが丘) 〓運営委員〔 天田英男(大塚) 大日方安郎(東小川) 遠藤真知子(東小川) 笠原武(飯田) 菊地恵子(小川) 君島小夜子(大塚) 桜井薫(角山) 鈴木秀尚(東小川) 利根川俊文(勝呂) 富田和朗(靱負) 永島善太郎(上横田) 藤村吉則(小川) 柳田智(高谷) 輪湖昇(角山)

「おがわ町民コンサート」お問い合わせは事務局 ☎ 0493-72-2027まで

第6回 2011年 愛と自由そして平和 おがわ町民コンサート

2011年町民コンサート5つの思い

3.11東日本大震災大津波犠牲者への哀悼
被災地、被災した皆さんとの連帯、わたしたち一人一人にできる支援の約束
この国の原子力政策を黙認してきたことへの悔恨
フクシマの子どもたちが今も被曝している現実の哀しみと心からの謝罪
日本の、世界の、核エネルギー、核兵器廃絶への決意と真の平和への祈り



会田 桂子、省三 夫妻
バイオリンとホルンのデュオ

震災後約1ヶ月(4月)の陸前高田市
朝日新聞より



島田 重雄、他
津軽三味線と民謡

震災後1ヶ月(4月)の東京電力福島
第一原子力発電所事故- WEB画像より



大塚 幸穂/ピアノ伴奏 川村紀子
チェロ独奏



大塚 秀子/ピアノ伴奏 大澤寺俊平
ソプラノ独唱

小川町の空の下 この小さなコンサートから
東北・フクシマの空へ 人の思いをつなげたい

12月10日(土) 2時開演 パトリアおがわホール

主催 後援
おがわ町九条の会 小川町 小川町教育委員会

〔開催協力券〕:一般前売1,000円(当日1,200円) 高校生以下500円(障害者同)
【お問合せ】おがわ町民コンサート実行委員会 0493-72-2027

おがわ町九条の会 2011年の基本方針

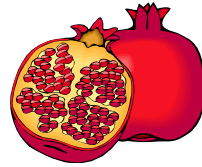
1 粘り強く活動を続けます。

「これ以上の解釈改憲は許さない。」の観点に立った活動、仮に国民投票が行われても「過半数の方が9条改憲NO!」になるようにこの運動を続けます。世界的な「平和」を求める流れを大きくするために活動します。「憲法を考えるだけでなく、憲法を尺度にものを考える。」というスローガンはこれからますます重要になっていくと思います。立ち止まらず、あきらめずにこの活動を続けます。

今年は、特に福島原発事故を受け、核に依存するエネルギー政策と決別することを求める、大きな世論の盛り上がり意識した、学習や活動に力をいれます。

2 会員相互の親睦・交流を図ることを重視します。

会員400人は、「九条を守ることで一致した仲間」です。知り合い、助け合うという親密な関係を作りたいと思います。多様な形でその機会を作ります。



3 会員を増やすことを重視します。

「一人ひとりが出来る努力をする」のが原則です。第1は「改憲NO!」の意志を持ち、「会員になること」です。あらゆる機会を通じて、広くアピールして会員を増やすように努めます。

★大まかな年間計画

「九条だより」の発行、九の日宣伝行動を可能な限り継続します。

- ① 12月の町民コンサート、② 1月の集い、③ 5月の集い、④ 9月の総会を大きな集まりとし、⑤ さまざまな形での勉強会・小集会・相談会等を開催します。

記念講演 桜井薫さん

3.11

前号でご紹介の通り、桜井さんは「町のエネルギー屋」さん。早くから太陽光を中心とした自然エネルギーの普及を仕事にしてきました。今回3.11の震災や、福島原発の事故後いち早く被災地に駆けつけ、ソーラー発電を提供、一躍脚光を浴びましたが、実はこれまで30年余にわたり、ミャンマー、フィリピンなどアジアの途上国はじめ中南米、アフリカ等世界の国々に文字通り明りをともし続けて来たのです。改めて「3.11から見てきたもの」は「エネルギーの地産地消」だというお話でした。そして「小川町の『エネルギーの地産地消』は、木材にある」という桜井さんの見識。スライドを交えての1時間余、その地道な活動に胸の熱くなる思いを共有することができました。ありがとうございました。(Y)



脱原発訴訟 大規模集会

東京電力福島第1原発事故を受け、原発依存からの脱却を訴える人々が参加。原発事故後「さよなら原発5万人」では、最大規模とみられる。参加者は19日、東京都新宿区の明治公園で開かれた「写真・本誌へりから梅田麻衣子撮影。集会やパレードには主催者発表で約6万人が参加。原発事故後「さよなら原発5万人」では、最大規模とみられる。集会やパレードには主催者発表で約6万人が参加。原発事故後「さよなら原発5万人」では、最大規模とみられる。



集会で挨拶する大江健三郎 澤地久枝 落合恵子各氏

作家の大江健三郎さん(76)は「原子力のエネルギーは必ず荒唐と犠牲を伴う」と語り、参加した俳優の山本太郎さん(36)は「今の日本の政治は一人の命や安全を無視している」と脱原発を訴え、参加者とともに「原発反対、子供を守れ」とシュプレヒコールを上げた。その後、参加者はプラカードや旗を掲げながら、明治公園から新宿や原宿など3コースに分かれて約2〜4キロをパレードした。警視庁によると、集会やパレードには約3万人が参加した。【長野宏美、山田奈緒】

全原発停止を採択

宗教者ら270人シンポ

熊谷

憲法9条を守る立場から「原発事故(平和憲法について考えるシンポジウム)が、熊谷市桜木町の市文化センターで開かれ、全国から約270人が参加した。(江田崇)各派や信教が異なる宗教者で結成した団体「宗教者九条の和(事務局・東京都渋谷区)が「シンポジウムと平和巡礼(山崎玉)」として主催。これまで、東京、京都、広島、長崎などで開催され、今年は特選を繰返した熊谷市が第7回目の開催地に決まった。東日本震災による原発事故が今の主なテーマ。基調講演を行った土山秀夫元長崎大学学長をはじめ、谷大二方、憲法9条の尊重と脱原発を訴えて行われた平和巡礼(19日、熊谷市内)。

トリックさいたま教区司教、小久保彰田天台常光院住職、内藤新吾ルーテル教区教師が登壇し、清水海澄正天学教授の司会で意見交換した。

登壇者からは「フルタイムを扱った原発の存在が他国への核抑止になるといえるが、これを「民意が反映されず、困窮として進められる」として、原発は、沖縄の米軍基地問題、靖国問題と構造的に似ている。など、原発の問題意識を批判する意見が続き、清水教授は「6月15日だった今も原発事故は何にも片付いていない。地震列島の日本に50以上の原発を建ててまで利便性を追求していいのか。福島事故を恐ろしく、自分自身は何が出来るのか考えている」が、政府に提出するため、参加者は、全原発の停止と国内外への原発輸出反対などを訴えるアピールを採択。参加者100人は、熊谷市の星川沿いにある熊谷市農協の女神像まで平和巡礼の行進を行って閉会した。

9 10/2